資料４

本研究開発における評価の論点（案）

論点１．ターゲットタンパク群の選定方法および研究開発テーマの選定方法の設定について

・本研究開発の目標を達成するためには、目標に即したターゲットタンパク群の選定および研究開発テーマの選定が重要な鍵となる。このため、ターゲットタンパク群の具体的な選定方法および公募（競争的研究資金）という方式を通じて目標達成に即した研究開発テーマを選定するための適切な手法（仕組み）について、研究開発の開始時点までに明確にしておく必要があるのではないか。

論点２．効果的・効率的な研究開発実施体制の構築について

・目標達成に向けて効果的・効率的に研究開発を推進するためには、タンパク３０００プロジェクトの経験や構築した研究基盤を踏まえ、どのような実施体制により推進すべきであるか、予め十分に検討しておく必要があるのではないか。

・また、「ターゲットタンパク研究」と「技術開発研究」を一体的に推進するためには、どのような体制を構築することが適当であるか、どのように運営すべきか、あらかじめ十分に検討し、その実現を図ることが必要ではないか。

論点３．説明責任を果たすための具体的な達成目標の設定について

・タンパク３０００プロジェクトに対する批判を踏まえ、同プロジェクトにおいて設定した定量的な目標を本研究開発では排除したため、かえって評価基準が不明確となったが、今後、国民への説明責任を果たしていくために厳正な評価が実施可能となるよう、「ターゲットタンパク研究」、「技術開発研究」のそれぞれにおいて、研究開発終了時における具体的な達成目標を設定することが必要ではないか。

論点４．「ターゲットタンパク研究」と「技術開発研究」への適切な資源配分方針の確立について

・タンパク群ネットワーク全体の作用機序の解明を進める「ターゲットタンパク研究」と、要素技術の高度化および情報プラットフォームの整備を行う「技術開発研究」およびそれぞれを構成する研究開発項目への研究開発資源の配分方針（年次計画を含む。）が明確ではないが、目標の達成に向けて効果的・効率的に研究開発を進める上で、それらへの資源配分をどのように行うことが適当か、検討する必要があるのではないか。